

2025年度事業実績報告の概要（小規模事業者経営支援事業費補助金関係）

団体名： 尾張旭市商工会

| 事業名 | 事業概要（背景・目的） | 事業実績 | 主たる対象者 | 事業評価 | | | | | | | | | | 今後の展開・改善点等 | | 備考 | | | |
|---------------|---|--|--------|------|--------------------------|------|-----|------|-----------------------------|--------|--------|------|------------|------------|-----|-----|-----|-------|---|
| | | | | 目標① | | | 目標② | | | 得られた効果 | | | A B C D 評価 | | | | | | |
| | | | | 指標 | 目標数値 | 実績数値 | 指標 | 目標数値 | 実績数値 | 総合評価 | 事業実施評価 | 自己評価 | 調査結果 | 満足度 | 補足 | | 目標① | 目標② | |
| 巡回・窓口相談指導事業 | 経営基盤の弱い小規模事業者を中心に、経営指導員等の商工会職員が事業所へ訪問し、事業資金融資等の金融相談、決算・確定申告の相談指導、労働保険等の相談指導、情報化支援相談、経営安定のための共済制度の促進等経営改善に資する指導を行う。 | ・巡回窓口指導実企業実績401事業所 ・巡回窓口指導延件数885件（うち創業支援1事業所17件） ・課題解決提案件数 42件（うち非会員6事業所8件） | 小規模事業者 | 指標 | 巡回窓口指導延件数 (達成度 65.6%) | | | 指標 | 課題解決提案件数 (達成度 140.0%) | | | A | A | 自己評価 | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | 売上向上、利益確保を図れるよう支援する。経営改善に資する国県市の施策の活用をともなう相談に乗り、今後も気軽に相談できるような支機関となるように努める。 |
| | | | | 目標数値 | 1350 | 実績数値 | 885 | 目標数値 | 30 | 実績数値 | 42 | | | 調査結果 | A | 必要性 | A | 現行どおり | |
| 記帳継続指導 | 記帳指導職員を中心とした商工会の職員が、個人事業主を対象に正しい記帳方法や決算・申告の指導を行い、適正な税務申告と経理処理による経営力の向上に結びつけていく。 | ・指導対象者数 69人 ・指導延日数 510日 ・指導延回数 708回 | 小規模事業者 | 指標 | 指導延回数 (達成度 103.1%) | | | 指標 | 課題解決提案件数 (達成度 %) | | | A | A | 自己評価 | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | 税務署と連携し、記帳継続指導指委会のパンフレットを設置し、新規開業者及び初め青色申告を行う事業者を中心に記帳継続指委会や記帳機械化対象者の募集を積極的にっていく。 |
| | | | | 目標数値 | 687 | 実績数値 | 708 | 目標数値 | | 実績数値 | | | | 調査結果 | A | 必要性 | A | 現行どおり | |
| 講習会 | 経営に関する様々な問題解決に対応するため、小規模事業者が必要な知識を習得することで、事業者の資質向上と円滑な事業運営に資することを目的とする。 | 講習会開催回数及び受講予定者数 集団 6回 72人 個別 20回 134人 計 26回 206人 | 小規模事業者 | 指標 | 講習会等受講者数 (達成度 116.4%) | | | 指標 | 講習会等受講者数 (達成度 %) | | | A | A | 自己評価 | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | 今後も必要のある講習会を開催していく。また、事業承継や創業セミナー参加者のフォローアップの講習会を開催予定である。 |
| | | | | 目標数値 | 177 | 実績数値 | 206 | 目標数値 | | 実績数値 | | | | 調査結果 | A | 必要性 | A | 現行どおり | |
| 講習会（尾張旭市受託事業） | 尾張旭市内商工業者の事業経営の諸問題を解決し、事業の健全化を図ると共に、商工振興に寄与することを目的とする。 | 講習会開催回数及び受講予定者数 (税務、法律、IT、労務) 個別 48回 97人 | 小規模事業者 | 指標 | 講習会等受講者数 (達成度 161.7%) | | | 指標 | 講習会等受講者数 (達成度 %) | | | A | A | 自己評価 | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | インボイス制度の影響で消費税に関しての相談が多くなりました。 |
| | | | | 目標数値 | 60 | 実績数値 | 97 | 目標数値 | | 実績数値 | | | | 調査結果 | A | 必要性 | A | 現行どおり | |
| 調査・広報事業 | 中小・小規模事業者関連の施策に反映するために、経営実態・地域景気動向・消費者動向などを把握する調査事業を実施する。 | ・調査研究（景況アンケート調査）を年に1回実施し、90企業から回答を得た。 項目：①売上高の増減 ②経営状況（課題・対応策・その他） ③資金繰り ④設備投資 ⑤来期に向けての経営見通し 回収率を上げるためにFAXだけでなくGoogleフォームや巡回等でもアンケート回答を回収した。 | 小規模事業者 | 指標 | 回答回収件数 (達成度 90.0%) | | | 指標 | 回答回収件数 (達成度 %) | | | B | B | 自己評価 | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | 今回の調査結果を活かして、企業が求めている経営改善のニーズ把握し経営支援を実施する。 |
| | | | | 目標数値 | 100 | 実績数値 | 90 | 目標数値 | | 実績数値 | | | | 調査結果 | B | 必要性 | B | 現行どおり | |
| 福利厚生事業 | ①定期健康診断・生活習慣病検査の実施 定期健康診断・生活習慣病検査の実施が、労働基準法・労働安全衛生法等により義務付けられている。そうした中、特定健康診断・特定健康指導も導入され、事業主の従業員に対する健康管理責任が重くなってきている。商工会として各事業所の一助としてこの事業を実施するものである。 ②小規模企業者相互の交流と従業員間の交流を回り、雇用の持続的な安定と企業の健全な育成に資することを目的とする。 | ①検診日：10月下旬から11月上旬で約215名が受診 検査項目 1) 定期健康診断：一般健康診断、胸部レントゲン、尿検査、心電図検査、血液検査等 2) 生活習慣病検査：胃検診、眼底検査 追加検査：肝炎検査、腎臓、痛風など 健康診断受診者数 215名 ②会員交流親睦旅行 37名 | 小規模事業者 | 指標 | 健康診断受診者数 (達成度 61.4%) | | | 指標 | 会員交流親睦旅行参加者数 (達成度 92.5%) | | | A | A | 自己評価 | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | 受診者数減少の背景として、他医療機関での受診や事業所単位での実施が進んだことが要因と考えられる。今後は開催期間を伸ばす等の改善及び関係機関との連携を強化し、受診率の向上に向けた取組を進めていく。 |
| | | | | 目標数値 | 350 | 実績数値 | 215 | 目標数値 | 40 | 実績数値 | 37 | | | 調査結果 | B | 必要性 | A | 下げる | |

2025年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 尾張旭市商工会

| 事業名 | 事業概要（背景・目的） | 事業実績 | 主たる対象者 | 事業評価 | | | | | | | | | | | 備考 | | | | | | |
|------------|---|---|--------|------|-------------------------|------|-----|---------|------|--|-----|-----------|-----|---------|-------|-----------------|-----------------|-------|-----|-----|--|
| | | | | 目標① | | | 目標② | | | 得られた効果 | | A B C D評価 | | | | 今後の展開・改善点等 | | | | | |
| | | | | 指標 | 受託事業者数 (達成度 102.3 %) | | 指標 | (達成度 %) | | 労働保険に関する事務手続き及び納付手続き、雇用保険に関する事務手続きなど事業主の事務負担を軽減し、労働保険料の納付を3回に分けることができた。労災保険に加入することができない事業主やその家族も労災保険に加入できる特別加入を利用することができた。 | | 総合評価 | A | 事業実施評価の | | 自己評価 | 調査結果への 事業者への | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② |
| 労働保険事業 | 労働保険の各種手続きから保険料の申告・納付等、労働保険に関する作業を、事業主の委託を受けて事務代行を行い、小規模事業者の負担を軽減することを目的とする。 | 7・11・2月の3回に分けて保険料を納付した。 実績数値 136件 | 小規模事業者 | 指標 | | | 指標 | | | | | | | | 総合評価 | | | | | A | 事業実施評価の |
| | | | | 目標数値 | 133 | 実績数値 | 136 | 目標数値 | 実績数値 | | | A | 必要性 | A | | 現行どおり | 実施方法① | 実施方法② | | | |
| | | | | 目標数値 | | 実績数値 | | 目標数値 | 実績数値 | | | A | 必要性 | A | 現行どおり | 実施方法① | 実施方法② | | | | |
| 雇用促進事業 | 優良従業員表彰事業は、永年にわたり地域産業に貢献した企業の従業員で勤務成績が優秀であって他の模範となる者を表彰し、今後一層の勤務意欲高揚に資することを目的とする。ひいては、事業所の発展に繋がるものである。 | 勤労感謝の日に合わせて、その前後の日程で表彰式を実施した。 表彰内容 ①知事賞：中小規模事業所に勤続年数20年以上・・・1名 ②市長賞：勤続年数20年以上・・・6名 ③市議会議長賞：勤続年数20年以上・・・1名 ④県連会長賞：勤続年数15年以上・・・0名 ⑤県連支部長賞：勤続年数10年以上・・・0名 ⑥商工会長賞：勤続年数5年以上・・・28名 | 小規模事業者 | 指標 | | | 指標 | | | | | 総合評価 | A | 事業実施評価の | 自己評価 | 調査結果への 事業者への | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | 功績があった従業員を表彰することで、勤労意欲の向上を図ることができた。 |
| | | | | 目標数値 | 40 | 実績数値 | 36 | 目標数値 | 実績数値 | | | | | | | | | | A | 必要性 | |
| | | | | 目標数値 | | 実績数値 | | 目標数値 | 実績数値 | | | B | 必要性 | A | 現行どおり | 実施方法① | 実施方法② | | | | |
| 部会・委員会 | 商業・工業・建設業等の各部会活動を行い、参加企業の発展に資することを目的とする。 | 【幹事会・委員会開催回数/延出席者数】 工業部会 8回/59人 建設業部会 7回/70人 商業部会 15回/125人 | 小規模事業者 | 指標 | | | 指標 | | | | | 総合評価 | A | 事業実施評価の | 自己評価 | 調査結果への 事業者への | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | 部会員のニーズや交流を目的とした事業を実施することができた。 |
| | | | | 目標数値 | 264 | 実績数値 | 254 | 目標数値 | 実績数値 | | | | | | | | | | A | 必要性 | |
| | | | | 目標数値 | | 実績数値 | | 目標数値 | 実績数値 | | | B | 必要性 | A | 現行どおり | 実施方法① | 実施方法② | | | | |
| 青年部・女性部 | 商工業者の後継者である青年、若手経営者及び商業に携わる女性に対し、経営に必要な知識の習得や資質の向上を図るための講習会や研修会を開催し、事業所の発展と振興を図る。また地域の発展に寄与する。 | 青年部 研修会 1回 19名 講習会 1回 19名 活動推進研修会 1回 6名 女性部 研修会・講習会 5回 68名 環境美化事業 8回 68名 地域振興事業 2回 26名 | 小規模事業者 | 指標 | | | 指標 | | | | | 総合評価 | A | 事業実施評価の | 自己評価 | 調査結果への 事業者への | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | 研修事業を通して、青年部員及び女性部員の資質向上を図ることができた。また地域振興事業等の実施により、地域社会の発展に寄与し、更には部員同士の団結を深めることができた。 |
| | | | | 目標数値 | 80 | 実績数値 | 44 | 目標数値 | 145 | 実績数値 | 162 | | | | | | | | A | 必要性 | |
| | | | | 目標数値 | | 実績数値 | | 目標数値 | | 実績数値 | | B | 必要性 | A | 現行どおり | 実施方法① | 実施方法② | | | | |
| 商店街・街づくり事業 | 地域の環境整備の一環として、市内の発展会等へ訪れる方に快適なショッピング環境を提供し、魅力ある街づくり、商業環境づくりを促進し活性化を図る。 | 街路灯管理 約360本の街路灯を維持管理し、店舗の広告宣伝及びライトアップによる防犯等地域貢献としての事業を実施した。 通電基数273基を維持した。スポンサー不在で老朽化しているものについて計画撤去を行った。 | 小規模事業者 | 指標 | | | 指標 | | | | | 総合評価 | B | 事業実施評価の | 自己評価 | 調査結果への 事業者への | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | 街路灯を設置することで、店舗管理としてのイメージアップ効果があり、また事業所の看板を設置することで、事業所、発展会等のPRとともに、周辺を明るくすることで地域住民への防犯にも役立っている。また、計画撤去を行ったことで維持管理費の削減にも繋げることができた。 |
| | | | | 目標数値 | 300 | 実績数値 | 273 | 目標数値 | 実績数値 | | | | | | | | | | B | 必要性 | |
| | | | | 目標数値 | | 実績数値 | | 目標数値 | 実績数値 | | | B | 必要性 | B | 現行どおり | 実施方法① | 実施方法② | | | | |
| 祭典事業 | 市民祭等を開催することで、その集客力を活かして地域の経済活動を促進する。また、小規模事業者に対しては、販売市へ出店することで売上増加を見込み、市内事業所への広告宣伝・PRに役立て、地域の総合的な振興を図ることを目的とする。 | 市民祭実施に伴う協賛及び販売市への出店（10月11日、12日開催） ・特別協賛・・・17企業 ・広告協賛・・・63企業 ・販売市（食の広場）・・・12企業 ・販売市（買物広場）・・・14企業 ・販売市（グルメコーナー）・・・25企業 | 小規模事業者 | 指標 | | | 指標 | | | | | 総合評価 | A | 事業実施評価の | 自己評価 | 調査結果への 事業者への | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | 特別協賛及び広告協賛することにより、一般市民への周知を図り事業所PRに繋がった。 |
| | | | | 目標数値 | 80 | 実績数値 | 80 | 目標数値 | 40 | 実績数値 | 51 | | | | | | | | A | 必要性 | |
| | | | | 目標数値 | | 実績数値 | | 目標数値 | | 実績数値 | | A | 必要性 | A | 現行どおり | 実施方法① | 実施方法② | | | | |

2025年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 尾張旭市商工会

| 事業名 | 事業概要（背景・目的） | 事業実績 | 主たる対象者 | 事業評価 | | | | | | | | | | 今後の展開・改善点等 | 備考 | | | | | | | |
|------------|---|--|--------|------|---------------------------------|------|-----|---|------|--|----|------------|-------|------------|------|---------|-------|--------|-------|-------|---|-------|
| | | | | 目標① | | | 目標② | | | 得られた効果 | | A B C D 評価 | | | | | | | | | | |
| | | | | 指標 | 特産認定数 (達成度 100.0 %) | | 指標 | 達成度 (%) | | | | 総合評価 | A | | | 事業実施評価の | 自己評価 | 調査結果への | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② |
| 産産活性化事業 | 尾張旭市内の企業を中心として、「特産品」と「商品開発」の研究を行い、新たな市場へチャレンジすることによって企業の発展に役立てる。また、観光協会とタイアップし、地域の産業と観光産業の活性化を図り、観光振興事業として、市を訪れる観光客、市民の土産品の需要に応えるため、特産推奨品を認定することにより観光産業に寄与する。 | 令和6年度中に行われた特産推奨品審査会において、認定された特産品に対し、今回認定期間（R7.4.1～R9.3.31）中に積極的に販売及びPRを行った。 ・PR方法：イベント等でのリーフレット配布、ホームページ、広報誌への掲載 ・販売方法：イベントなどでの出店 特産推奨品目数：25 | 小規模事業者 | 指標 | 特産認定数 (達成度 100.0 %) | | 指標 | 達成度 (%) | | ・市内外に対し、特産品の販路を拡大すること で、売上げアップと利益還元に繋がった。 ・特産品を広くPRすることで、地域やお店の知名度を上げることができた。 | | | | 総合評価 | A | | | | | | 事業実施評価の | 自己評価 |
| | | | | 目標数値 | 25 | 実績数値 | 25 | 目標数値 | 実績数値 | 必要性 | A | 現行どおり | 実施方法① | | | 実施方法② | | | | | | |
| | | | | 目標数値 | 25 | 実績数値 | 25 | 目標数値 | 実績数値 | 必要性 | A | 現行どおり | 実施方法① | | | 実施方法② | | | | | | |
| 情報化推進事業 | 毎月異なる施策記事及び商工会内部の部会活動記事等を商工会だよりに掲載する。施策記事については経営に役立て、部会活動記事については部会等の魅力を知ってもらうことを目的とする。また、事業所のPRや地域振興事業に関する記事も掲載する。 | 商工会だより毎月発行 ・毎月異なる施策記事を掲載した。 | 小規模事業者 | 指標 | 発行回数 (達成度 100.0 %) | | 指標 | 達成度 (%) | | 各種施策や補助金などについて会員事業所へ積極的に情報提供ができた。また、商工会の事業などについても幅広く知ってもらえた。 | | 総合評価 | A | 事業実施評価の | 自己評価 | 調査結果への | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | 現行どおりに小規模 事業者の役立つ情報を提供していく。必要に応じてページ配分を変更して、情報提供する。 | |
| | | | | 目標数値 | 12 | 実績数値 | 12 | 目標数値 | 実績数値 | 必要性 | A | | | | | | 現行どおり | 実施方法① | 実施方法② | | | |
| | | | | 目標数値 | 12 | 実績数値 | 12 | 目標数値 | 実績数値 | 必要性 | A | | | | | | 現行どおり | 実施方法① | 実施方法② | | | |
| 若手後継者等育成事業 | <p>(1) 若手後継者及び経営者育成講習会 目的：若手後継者及び経営者の育成 若手後継者及び経営者には迅速で柔軟な対応が求められている。そのため、状況に応じてその都度青年部員同士で検討し、経営の改善や継続に必要なと考える講習を定期的に行っていく。</p> <p>(2) (3) 商工会青年部・女性部全国大会参加 目的：青年部・女性部指導者の資質向上 指導的立場の者が全国大会に参加することにより、全国各地の先進活動事例等に対する知見を深め、今後の青年部女性部活動の活性化を図る。また、交流会などで他県の部員などとの情報交換も可能であるため、今後の青年部女性部活動の活性化と部員の成長に役立てる事を目的とする。</p> <p>(共同) 東尾張支部商工会女性部活動推進研修会 商工会女性部は、地域振興発展の力強い協力者・推進者となるべく、使命感を持って、組織活性化の原動力となるとともに、社会一般の福祉の増進に努め、豊かなまちづくりの担い手となる必要があることから、今般、東尾張支部商工会女性部部員を対象にセミナーを開催し、商工会女性として必要な幅広い知識の習得と、女性部活動の推進を担う組織リーダーとしての意識高揚、指導力醸成を図り、もって地域商工業の持続的発展に寄与する。</p> | <p>(1) 経営者講習会の具体的内容 講師：大堀 寛也 氏 友村 晋 氏 開催時期：令和7年7月29日 令和7年9月8日 参加人数：延べ50名 対象者：青年部員等若手経営者・後継者</p> <p>(2) (3) 商工会青年部・女性部全国大会参加の具体的内容 商工会青年部全国大会への参加 開催日：令和7年11月26.27日 開催場所：アピオ岩手産業文化センター 参加者：青年部長1名、副部长2名</p> <p>商工会女性部全国大会参加 実施時期：令和7年10月15日 実施会場：福井県 参加人数：3名（女性部正副部长長等）</p> <p>(共同) 東尾張支部商工会女性部活動推進研修会 開催時期：令和8年2月2日 参加者数：72人</p> | 小規模事業者 | 指標 | (1) 講習会参加者数 | | 指標 | 研修会・セミナー参加者満足度 目標値（満足・どちらかといえは満足の割合） | | 元名古屋国税局調査官として活躍してきた経験から適切な会計処理や、どのような業種・経営状況であるかを税務調査が入りやすいの学ぶことができた。税務調査は全ての事業所が対象になるので、経営者として事業所の内部事情や会計処理・税理士の選定を見直すための有益な研修となった。 | | 総合評価 | A | 事業実施評価の | 自己評価 | 調査結果への | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | 青年部員・女性部員が中心となり、若手後継者や経営者の資質向上に繋がる講習会を開催している。また青年部・女性部全国大会にも参加し、全国での様々な事例を学び、企業の発展に繋げる。 | |
| | | | | 目標数値 | 40 | 実績数値 | 50 | 目標数値 | 80 | 実績数値 | 93 | | | | | | 必要性 | A | 現行どおり | 実施方法① | | 実施方法② |
| | | | | 目標数値 | 40 | 実績数値 | 50 | 目標数値 | 80 | 実績数値 | 93 | | | | | | 必要性 | A | 現行どおり | 実施方法① | | 実施方法② |
| 創業支援事業 | 創業予定者に対してより専門的な支援を行っていくため、尾張旭市、瀬戸信用金庫、日本政策金融公庫と連携して支援体制を構築し、支援を行っていく。 | <p>・ワンストップ相談窓口の開設 創業予定者相談回数5件</p> <p>・創業セミナーの開催5回 延15名（経営、財務、人材育成、販路開拓）</p> | 創業予定者 | 指標 | ワンストップ相談窓口相談回数 (達成度 100.0 %) | | 指標 | 創業セミナー参加者数 (達成度 100.0 %) | | 創業を支援する上で、他の支援機関と支援ネットワークを構築し、効果的な支援を行うことができた。また、過去の創業セミナー受講者を対象にしたフォローアップセミナーでは売上向上に向けた販路開拓への取組みを実施し、また参加者と支援機関との創業後の意見交換会を実施し新たな支援体制を作ることができた。 | | 総合評価 | A | 事業実施評価の | 自己評価 | 調査結果への | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | 今後も他の支援機関との連携を図り創業支援を実施する。 | |
| | | | | 目標数値 | 5 | 実績数値 | 5 | 目標数値 | 15 | 実績数値 | 15 | | | | | | 必要性 | A | 現行どおり | 実施方法① | | 実施方法② |
| | | | | 目標数値 | 5 | 実績数値 | 5 | 目標数値 | 15 | 実績数値 | 15 | | | | | | 必要性 | A | 現行どおり | 実施方法① | | 実施方法② |

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。